

全ての乗務員に問います

「新たなジョブローテーション」に対して、大田運輸区分会の問題提起②

重要

問題点その4

同一担務の従事期が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担務変更することとする

→鉄道業は経験で安全を守っている。安全を度外視している。

→技術継承の破壊と、専門家・プロがなくなる。

私たちはJR西日本と同じ道を進んではいけない!!

福知山線事故・安全諮問委員会の中間とりまとめが全て物語っている!

会社は「馬尺から運転士までの一律的なキャリアステップを見直し、多様な経験により安全サービスレベルを向上させ挑戦しやすい柔軟なジョブローテーションの実現とのべています。全てを否定しませんが **全社員に押しつけるべきではありません**。希望を把握すればいいだけの話しです。

また会社は「ジョブローテーション」という言葉を使っています。「ローテーション」を辞書で調べると「無限小回転」と出てきます。社員を「コマ」のように扱い、社員を物としか見ていない。変りはいくらでもいると考えているはずで。

「ジョブローテーション」そのものも反対ですが、鉄道業で働く私たちに対して「ローテーション」という言葉も使うべきではありません。

「変革2027」で社員・家族の幸福の実現をうたっていますが、働く場所、職種も不明の中で幸福の実現など絵空事でしかありません。

私たちは「命」を運んでいることを片時も忘れてはいけません。安全が何よりも大事であり、その安全は経験とチームワークで守られています。今まで積み上げてきた財産を捨て去り、生産性向上のみを考え、ご利用いただいている「お客さま」の安全を無視するものには反対します!!

● **今一度羽越線事故で亡くなった遺族の言葉を胸に刻もう!!**

「私たちは人命を運んでいる」

JREU大田運輸区分会

私たちが「命」を運んでいくのです